

漢人あきこ 都議選から2年

小金井から変える 市民が変える
人に寄りそう グリーンな東京

市民が政治を語る時

希望のキーワード ミュニシパリズム

地域主権主義

参加費 500円
9月6日(水)

18:30 開場 19:00 ~ 21:30

【会場】小金井 宮地楽器ホール・小ホール
(JR 中央線武蔵小金井駅南口すぐ)



漢人あきこ 都議会議員 (小金井市選出)

報告

かんど

漢人あきこ 都議活動2年間の報告

スペシャルトーク

「地域主権という希望」

ゲスト 杉並区長
岸本 聡子さん



岸本聡子 杉並区長

トークセッション

漢人あきこ x 岸本聡子

ミニライブ

日本とミャンマーにルーツを持つヴォーカルデュオ

Yuzuna & Uta



参加申込



申し込みは QR コードを読み込んでチケット予約販売サイト Peatix からどうぞ。
【問合せ】changetokyo.k@gmail.com /042-308-2618 (水・金 14時~18時)

【主催】チェンジ東京! 小金井の会 【協力】チーム漢人 グリーンな東京

漢人あきこと 岸本聡子と ミュニシパリズム

漢人あきこは、2021年都議選への再挑戦を伝える支援者への手紙の最後を、次の一文で結んでいました。

「今度こそ！小金井発のミュニシパリズムで未来をひらく！

都政に声を届け、地域から未来を変えていくために、都議選への再チャレンジを決めました。

いま、私の希望のキーワードは『ミュニシパリズム (municipalism)』（地域に根付いた自治的な民主主義を重視する市民主体の政治）です。パリをはじめ大都市の市長も続々と誕生させるなど、ヨーロッパでは国からではなく自治体からの変革が着々と進んでいます。『市民自治』を育ててきた小金井には同じ可能性があると思うのです。」(2020年10月)

2年前、「ミュニシパリズム」は日本ではほとんどなじみのない言葉でしたが、ヨーロッパ、南米では、地域・自治体からの変革の動き、コモンの再生として広がっていました。それを日本に発信していたのが、当時ベルギー在住の岸本聡子さんでした。

2021年7月都議選、漢人あきこは一人区の小金井市選挙区で、無所属で市民選挙を展開、過半数の市議の応援、6つの政党・政治団体の支援も受けて圧勝。小金井版「ミュニシパリズム」の勝利でした。

その1年後、2022年6月杉並区長選の候補者として挑んだのは、なんと岸本聡子さんでした。区政の変革を求める市民の強い要請に応え、杉並区民のなかに根付いてきた自治への思いと市民主体の選挙によって現職を破り、187票差の劇的勝利を果たしたのです。岸本聡子さんが「ミュニシパリズム」の実践者として誕生した瞬間です。区長選の場には、岸本さんを応援する漢人あきこの姿がありました。



地域・自治体からの希望と変革のキーワード、それが「ミュニシパリズム」です。

漢人あきこ 都議会議員



- 1980 東京学芸大学入学（1985中退）
障害児の普通学級通学や重度障害者の地域自立生活の介護ボランティア、在日韓国・朝鮮人との交流、小金井地域での市民運動などに参加
- 1983～1995 小金井市本町「どろんこ保育所」で保育者として働く
女性、教育、平和、環境関係のさまざまな活動に参加
- 1997～2013 小金井市議を4期16年務める
「市民自治」をキーワードに市民参加と情報公開、議会改革に取り組む
- 2012 「緑の党グリーンズジャパン」設立に参加
- 2017 都議会議員選挙に小金井市選挙区で挑戦 次点
- 2021 7/4 都議会議員選挙当選

岸本聡子 杉並区長



- 1992 「国連地球サミット」（ブラジル・リオデジャネイロ）をきっかけに大量生産・大量消費への疑問と環境問題への関心を強く持つ
- 1993 日本大学入学。環境社会学専攻
- 1997 国際青年環境 NGO「A SEED JAPAN」に参加。気候変動枠組み条約（COP3）に向けて、若者の全国的な地球温暖化防止キャンペーンを行う
- 2003 国際政策シンクタンク NGO「トランスナショナル研究所（TNI）」に就職
世界各地の民営化された公共サービスを住民の手に取り戻す「再公営化」事例を調査。「ミュニシパリズム」を発信
- 2022 帰国 「住民思いの杉並区長をつくる会」の要請を受けて6月区長選に挑み、187票差で初当選

Yuzuna&Uta

日本とミャンマーにルーツを持つ歌声は、クーデター下の困難な状況にあるミャンマーの人たちを元気づけ、ミャンマー人コミュニティの中で大注目となっています。おふたりは小金井在住、ビルマ語通訳者としてミャンマーの状況を発信する島岡みぐささんの娘さんです。

